



# ひかいの子植物園

～ **五感**を**刺激** ・ **豊かな感性**を**育てる!!!** ～

社会福祉法人 誠信会 ひかいの子保育園

# H22.4月開園 東日本大震災、原発事故を乗り越えて

ひかりの子保育園が開園したのは平成22年4月。  
どんな花を植えよう、どんな木を植えよう、子どもたちにとって豊かな体験ができるよう私たちの思いはふくらむばかりでした。

ところが翌年3月に起きた東日本大震災、そして原発事故。外遊びが制限される中、子どもたちが安心して遊べる環境づくりに職員一丸となって進めてまいりました。

## 開園時



## 現在



そして現在、いろんな種類の植物が園庭に根付き、花を咲かせ、実がなり、いろんな生き物が園庭の木や草花に集まってきます。その中で子どもたちは“発見”や“おどろき”そして“刺激”を受け、五感をはたらかせながらいろんな体験を重ね豊かな心を育てています。

その  
**四季を感じる園**…変化の大きい植物を植える

春



夏



気づく

秋

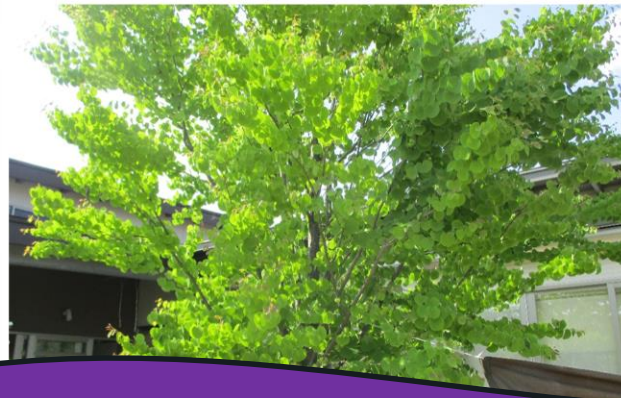


冬



感じる

# 様々な樹木・草花の成長！！ 彩り豊かな<sup>その</sup>園



バラ19種、ツバキ10種、カツラ、月桂樹、イチョウ、ヒメリンゴ、梅、シラカシ、アカガシ、キングサリ、ロウバイ等、多種多様な植物が子どもたちの知的好奇心を刺激します。



保護者、職員、地域の方の癒しです。

## 不思議だな

いっぱい集めて  
お金持ち！



昔のお金の形から  
“小判草”という名前

あ、見つけた。  
ドングリ探し！



似てるけど樺の  
つぼみだよ。

散らかし  
ちやうぞ！



カサカサ、ふわふわ  
落ち葉のプール

## おもしろい

ピンクの花びら。  
私も集める。



トゲが少なく、香りの  
良い品種を低く剪定

椿の花も取り放題！  
贅沢な料理



ちょっとお待ち  
ください。

ダンゴムシは高く  
平らなところでどう  
歩くのかな？



豊かな植物は虫、鳥も  
多く集まります

# 五感を刺激！！

乳幼児期は、感覚器官が育つ時期です。この時期に環境を通して遊びながら各器官を育てていきます。

☆視覚・・・よく観る 見比べる



並んでる！

葉の裏に  
黄色の卵



☆聴覚・・・聴く 聞き分ける

樹木が風でゆれ葉が重なり合う音、  
雨で自然とできる川の流れ、  
果実や野菜の収穫時を教えてくれる鳥のさえずり。  
それに気づき、子ども同士、職員との会話も  
園庭での音環境です。

椿まんじゅう



☆味覚・・・味が分かる 味わう

おいしくなあれ



収穫した梅が今年は少なく、  
購入した梅をプラスして  
**梅ジュースづくり。**  
運動会前後に飲むのが楽しみ！



取れたての味噌**キュウリ**は大人気！



☆**触覚**・・・形や質の違い 温度を感じる

泥、水の感触



涼しい木陰で



☆**嗅覚**・・・匂いの違いに気づく



いい香り！

どの花、葉にする？



感じることは、物や季節を感じる、人の心を感じるなど、心を動かす基本になります。

子どもたちは物や人と関わり、遊ぶ中で様々なことに気づきます。子どもにとって毎日の生活の全てが発見と驚きの日々です。気づいたことや知っていることを繋いでいくことで、子どもの知識、生活の中で知恵(生きる力)になっていき、小学校以降の学習の土台になります。

五感を育てることで物事に対して敏感になり、感性豊かな子ども、優れた品格と知性を持ち合わせた大人になるよう願って保育します。

一人ひとりの感性がひかり輝きますように……

# 砂遊びを深めるとさらに五感が育つ！！… 戸外遊びをもっと充実させよう

旧砂場



小さい・狭い・浅い

R3年度末に完成しました。

新砂場



広い・深い・造形に適した砂

# ① 新たな砂の楽しみ 園庭砂場

ふわふわ～



泥団子は  
水加減！



あったかいよ。  
きもちいい～



砂場が  
八角形だから  
友だちと丸く  
飛び回れる



同じ目的に  
向かって  
役割分担



## ②新たな砂の楽しみ テラス砂場

これなあに？



元々あった地面を  
職員が掘った砂場。  
落ち葉や石、花びら、  
時には幼虫が...

1歳児の**好奇心**を  
刺激します

おはな～



山があった...



先生が水を入れたよ...



どろどろ～

### ③ 新たな砂の楽しみ 泥場づくり

水を入れて  
みよう



よくこねよう



花壇の土を  
一輪車で運び、  
水を入れて...

砂場とは違う  
泥の感触に

**大喜び！夢中！**

トロトロだね



足が抜けない



## ④新たな砂の楽しみ ホワイトサンド(屋内)

…全天候型です。

さらさらだね



白くて細かい  
粒子の  
ホワイトサンド  
冷たくて  
子どもも  
大人も

心地よくて  
夢中！



先生も！！

## 砂遊びで育つもの

子ども達は砂を見つけると、自ら裸足となり全身で砂の感触を楽しみます。砂山を見ると手や足、シャベルで壊します。砂は子どもたちの動きに反応し、応答してくれます。それがどれほど嬉しいことでしょう。

砂の感触の心地良さが安心感を与え、容器に砂を入れることで指先の巧緻性、シャベルを使うことで道具を持つ体の動きが身につきます。泥団子はどうやったら固まるか水分量と砂の粒子を考える科学性、ピカピカに光った泥団子が完成したときの達成感、山と穴、水路を友だちと作るために役割分担し会話をすすめる社会性等、育つ力が砂遊びには満載です。

子どもたちをこれだけ魅了する砂あそび、ただそばで見ているだけでは大人が気づけない育ちの場面がたくさんあります。子どもが夢中になるのはなぜか、問いかけながら実体験を通して育つ環境を整えていきます。



# 年間計画

時期	内容	
	植物	砂場
4月	草むしり、種まき	砂の搬入①、道具購入、カート準備
5月	野菜の苗植え、木酢液消毒	園内研修①(外部講師)、道具点検
6月	梅、無花果の収穫、ポップリづくり	粘土場・泥場づくり
7月	ヒメリンゴの収穫、クッキング	
8月		園内研修②(外部講師)、道具購入
9月		砂の搬入②、保育参観(保護者体験)
10月	野菜の種まき、クッキング	
11月	球根植え付け、剪定	
12月	落ち葉プール、腐葉土づくり	
1月		園内研修③(外部講師)
2月	腐葉土・肥料	ホワイトサンド設置場所移動
3月	剪定	道具点検
その他		

保育参観を通して親子でポップリ作りや砂遊びを行い、大人が没頭体験をすることで子ども理解へ繋がります。

## それぞれの“ひかり”を大切に

ちきゅうに生きるすべての花や樹木、動物たちも光によって育まれ、成長していきます。

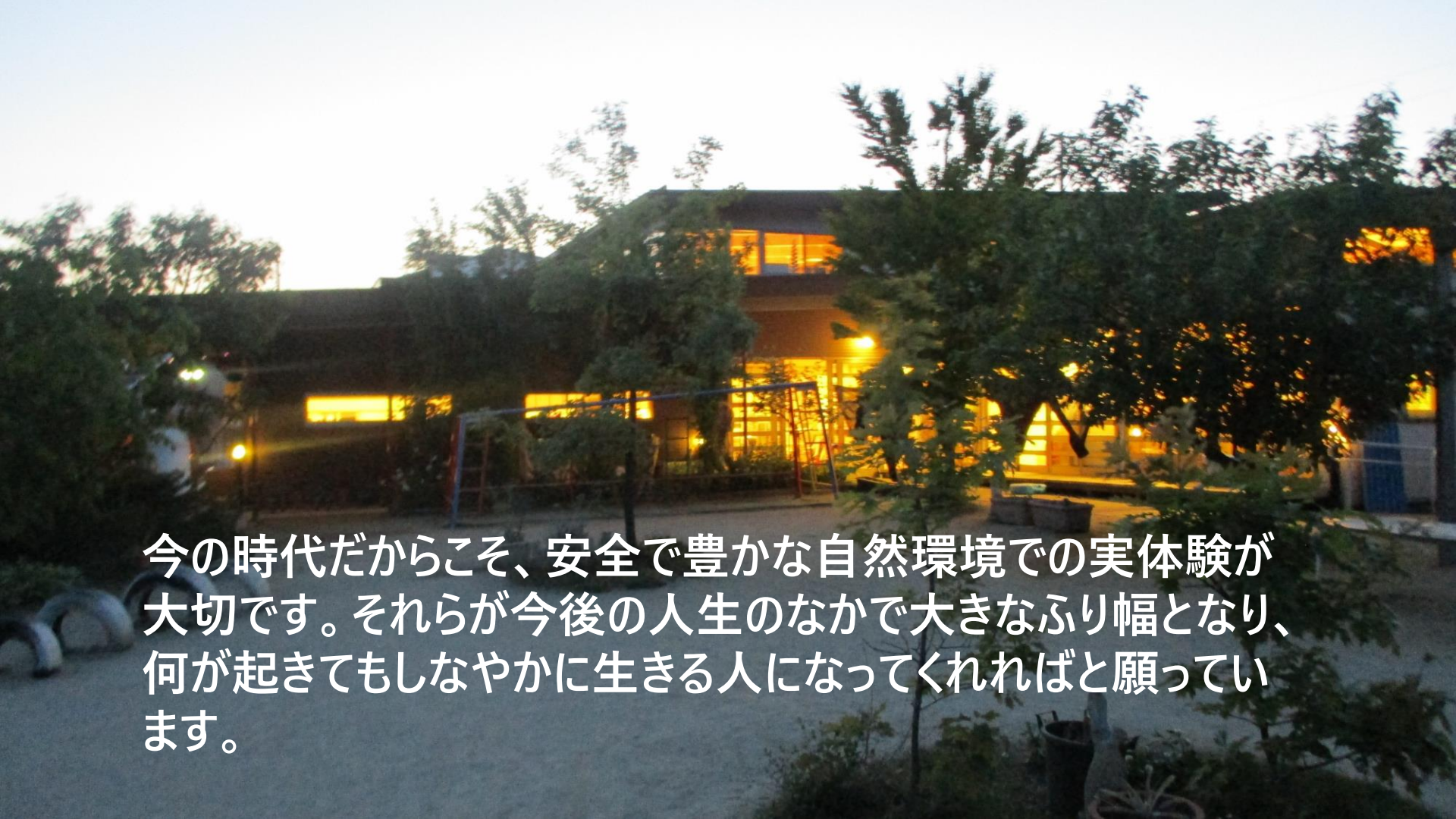
この世に生を受けた子どもたちは、健康で、力強く暖かい太陽の光と、静かでやさしい月の光をいっぱい浴びて育ちます。

保護者の方やまわりの人達の愛の光に包まれて、一人ひとりが“ひかり”のように輝けるようにとの願いを込めて「ひかりの子保育園」と名称しました。

保育園の“園”は“その”です。樹木の成長を見守り、花を子どもたちと植えて、季節ごとの移り変わりを楽しむ“その”に近づきたいと思っています。

**地球のなかの日本⇒東北⇒福島県⇒福島市  
豊かな自然環境のなか、えがおいっぱいにごせますように**





今の時代だからこそ、安全で豊かな自然環境での実体験が大切です。それらが今後の人生のなかで大きなふり幅となり、何が起きてもしなやかに生きる人になってくれればと願っています。